

平成30年度試験から

防衛省専門職員採用試験が、 変わります。

平成30年度から実施する防衛省専門職員採用試験は、試験区分「国際関係」を廃止し、「特定の語学*」ごとに、これまでの試験区分「語学」と同様の採用試験を実施します。

※特定の語学：英語・ロシア語・中国語及び朝鮮語

防衛省の組織

「防衛省と自衛隊の違いがよくわからない」という声をよく耳にしますが、ともに事務官等・自衛官を併せて数十万人を擁する同一の組織を指しています。「防衛省」という呼び名は「行政組織」という側面を捉えた呼称、一方、「自衛隊」という呼び名は「実力組織」という側面を捉えた呼称です。ただし、慣用的に「防衛省→行政部門を担当している内部部局等」、「自衛隊→実力行動を実施する陸・海・空の各自衛隊」と異なる意味合いで使われることもあります。

防衛省専門職員とは

防衛省専門職員は、高い語学力とグローバルな視野を生かして、日本の安全保障を支えるため、本省内部部局をはじめ、省内の各機関において様々な業務に従事しています。

防衛省専門職員の主な業務内容等

本省内部部局では…

日米防衛協力、諸外国との防衛協力・交流、国際平和協力活動、防衛装備・技術協力、在日米軍及び関連地方自治体との折衝等の安全保障関連行政、及び高官通訳に従事。

【採用語学：英語】

陸・海・空自衛隊では…

自衛官等に対する語学教育、会議での通訳、海外資料の収集・分析・翻訳・情勢ブリーフィング等に従事。

【採用語学：英語、ロシア語、中国語、朝鮮語】

情報本部では…

国際関係、地域情勢（政治・経済・外交・文化・民族問題・最新技術等）、軍事情勢に関する情報収集・分析等に従事。

【採用語学：英語、ロシア語、中国語、朝鮮語】

